



2024年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年10月6日

上場会社名 カネコ種苗株式会社 上場取引所 東
コード番号 1376 URL <https://www.kanekoseeds.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 金子 昌彦
問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理部門・コンプ (氏名) 長谷 浩克 TEL 027-251-1619
ライアンス・IT推進担当
四半期報告書提出予定日 2023年10月13日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無：無
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年5月期第1四半期の連結業績（2023年6月1日～2023年8月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年5月期第1四半期	13,727	△5.8	258	△11.4	309	△9.1	208	△7.5
2023年5月期第1四半期	14,577	1.0	291	△7.8	340	△4.1	224	△4.4

(注) 包括利益 2024年5月期第1四半期 243百万円 (△9.9%) 2023年5月期第1四半期 270百万円 (△10.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年5月期第1四半期	18.18	—
2023年5月期第1四半期	19.44	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年5月期第1四半期	43,298	23,527	54.3	2,054.79
2023年5月期	46,707	23,513	50.3	2,053.62

(参考) 自己資本 2024年5月期第1四半期 23,526百万円 2023年5月期 23,513百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年5月期	—	11.00	—	20.00	31.00
2024年5月期	—	—	—	—	—
2024年5月期（予想）	—	11.00	—	20.00	31.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年5月期の連結業績予想（2023年6月1日～2024年5月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	—	—	—	—	—	—	—	—	—
通期	64,000	2.9	1,850	3.6	2,000	4.5	1,450	1.7	126.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 6「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年5月期1Q	11,772,626株	2023年5月期	11,772,626株
② 期末自己株式数	2024年5月期1Q	322,890株	2023年5月期	322,818株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年5月期1Q	11,449,759株	2023年5月期1Q	11,574,418株

(注) 期末自己株式数は、「株式給付信託（BBT）」が保有する当社株式（2024年5月期1Q 66,600株、2023年5月期 66,600株）が含まれております。また、「株式給付信託（BBT）」が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。（2024年5月期1Q 66,600株、2023年5月期1Q 66,600株）。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(セグメント情報)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2023年6月1日～2023年8月31日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による行動制限が緩和されたことで、経済活動が正常化へ近づいたことに加えて、インバウンド需要の回復、企業の設備投資が堅調に推移するなど明るい材料も見られました。その一方、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化や円安・資源高の影響による物価上昇が、景気下押し圧力となるなど不透明感が拭えない状況が続いております。

国内農業の状況は、少子高齢化による食料消費の減少や農家の後継者不足等の従前からの課題に加え、生産資材の高騰によるコスト高、酷暑による農作物の品質低下や不安定な作柄の影響が、農家経営に暗い影を落としております。

このような状況のなか当社グループの業績は、売上高137億27百万円で前年同期比8億50百万円(5.8%)の減収となりました。利益面でも、営業利益2億58百万円で前年同期比33百万円(11.4%)減、経常利益3億9百万円で前年同期比30百万円(9.1%)減、親会社株主に帰属する四半期純利益2億8百万円で前年同期比16百万円(7.5%)減となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

種苗事業

種苗事業においては、サツマイモ切苗やタマネギ種子の国内販売が伸長したものの、野菜種子の輸出の一部が第2四半期へ先送りとなったことや、緑化工事用種子の需要減に伴い販売が低迷したことにより、売上高20億78百万円で前年同期比3.1%の減収となりました。利益面でも、賃上げや人員増に伴う人件費の増加や、種子品質向上のため物流保管施設を充実させたことに伴うコストアップ等により、セグメント利益3億12百万円で前年同期比17.6%減となりました。

花き事業

花き事業においては、営利栽培農家向けのカーネーション苗、ユーストマ種苗に加え、園芸農薬の販売が増加したものの、巣ごもり需要の反動減と猛暑の影響から一般家庭向け園芸資材・肥料及び花苗・野菜苗の販売が低迷し、売上高16億6百万円で前年同期比1.3%の減収となりました。利益面でも、セグメント損失47百万円(前年同期のセグメント損失は17百万円)で損失は拡大いたしました。

なお、当事業は春に需要期を迎えることに伴い、第4四半期に売上高及び利益が集中的に計上される傾向があります。例年第3四半期まではセグメント損益はマイナスであります。通期では当該マイナスは解消されております。

農材事業

農材事業においては、主要取扱い商品の農薬が、前年同期に値上り前需要により販売が増加した反動や、酷暑に伴い生産者の散布機会喪失により除草剤の販売が、害虫発生が少なかったことにより殺虫剤の販売がそれぞれ減少し、売上高71億10百万円で前年同期比5.8%の減収となりました。利益面では、採算性が改善したことから、セグメント利益2億62百万円で前年同期比56.1%増となりました。

施設材事業

施設材事業においては、原料価格高騰に伴う農業資材価格の上昇が、生産者の買い控えや設備投資意欲の減退を招いたことから農業用フィルムを中心に販売が減少し、売上高29億32百万円で前年同期比10.0%の減収となり、利益面でも、セグメント利益26百万円で前年同期比46.1%減となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第1四半期連結会計期間末における「資産の部」の残高は、432億98百万円となり、前連結会計年度末と比較して34億9百万円減少いたしました。これは主に受取手形及び売掛金や商品の減少によるものであります。

また、「負債の部」の残高は、197億71百万円となり、前連結会計年度末と比較して34億22百万円減少いたしました。これは主に買掛金の減少によるものであります。

なお、「資産の部」における受取手形及び売掛金の減少、また、「負債の部」における買掛金の減少は、当社グループの事業が主に第4四半期に繁忙期を迎えることに伴うものであり、每期ほぼ同様の状況となっております。

「純資産の部」の残高は、235億27百万円となり、前連結会計年度末と比較して微増となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年7月11日の「2023年5月期決算短信」で公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,448,185	3,223,823
受取手形及び売掛金	20,720,127	16,254,997
電子記録債権	388,356	619,111
商品	10,231,778	9,431,570
未収入金	2,182,034	2,863,883
その他	271,469	415,257
貸倒引当金	△20,996	△16,980
流動資産合計	36,220,954	32,791,663
固定資産		
有形固定資産		
土地	3,999,060	3,999,060
その他(純額)	2,785,940	2,833,886
有形固定資産合計	6,785,000	6,832,946
無形固定資産	720,780	687,788
投資その他の資産		
その他	3,000,461	3,009,180
貸倒引当金	△19,321	△22,752
投資その他の資産合計	2,981,139	2,986,428
固定資産合計	10,486,921	10,507,163
資産合計	46,707,875	43,298,826
負債の部		
流動負債		
買掛金	19,448,024	13,266,593
短期借入金	—	3,120,000
未払法人税等	306,191	117,712
その他	1,813,531	1,642,838
流動負債合計	21,567,747	18,147,145
固定負債		
退職給付に係る負債	1,265,239	1,262,816
役員株式給付引当金	65,563	71,263
その他	295,492	290,533
固定負債合計	1,626,295	1,624,612
負債合計	23,194,042	19,771,758
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,491,267	1,491,267
資本剰余金	1,765,224	1,765,224
利益剰余金	19,721,047	19,698,907
自己株式	△477,057	△477,161
株主資本合計	22,500,481	22,478,237
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	956,629	962,899
為替換算調整勘定	2,373	28,615
退職給付に係る調整累計額	54,087	57,044
その他の包括利益累計額合計	1,013,089	1,048,559
非支配株主持分	262	271
純資産合計	23,513,832	23,527,068
負債純資産合計	46,707,875	43,298,826

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2022年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年6月1日 至 2023年8月31日)
売上高	14,577,928	13,727,579
売上原価	12,401,678	11,481,798
売上総利益	2,176,249	2,245,781
販売費及び一般管理費	1,884,977	1,987,733
営業利益	291,271	258,048
営業外収益		
受取配当金	29,752	37,038
受取家賃	17,497	18,896
為替差益	3,120	—
その他	4,164	3,705
営業外収益合計	54,535	59,640
営業外費用		
支払利息	4,966	6,098
為替差損	—	679
その他	215	1,282
営業外費用合計	5,181	8,061
経常利益	340,625	309,627
特別損失		
固定資産処分損	4,147	6
特別損失合計	4,147	6
税金等調整前四半期純利益	336,477	309,620
法人税等	111,456	101,422
四半期純利益	225,021	208,198
非支配株主に帰属する四半期純利益	22	9
親会社株主に帰属する四半期純利益	224,998	208,188

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2022年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年6月1日 至 2023年8月31日)
四半期純利益	225,021	208,198
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	21,792	6,270
為替換算調整勘定	21,028	26,242
退職給付に係る調整額	2,532	2,956
その他の包括利益合計	45,354	35,469
四半期包括利益	270,376	243,667
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	270,338	243,639
非支配株主に係る四半期包括利益	37	27

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自2022年6月1日 至2022年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	種苗事業	花き事業	農材事業	施設材事業	合計
売上高					
外部顧客への売上高	2,144,751	1,627,217	7,549,208	3,256,749	14,577,928
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,144,751	1,627,217	7,549,208	3,256,749	14,577,928
セグメント利益又は損失(△)	379,419	△17,819	168,063	49,204	578,866

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	578,866
全社費用(注)	△287,594
四半期連結損益計算書の営業利益	291,271

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2023年6月1日 至2023年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	種苗事業	花き事業	農材事業	施設材事業	合計
売上高					
外部顧客への売上高	2,078,447	1,606,001	7,110,845	2,932,285	13,727,579
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,078,447	1,606,001	7,110,845	2,932,285	13,727,579
セグメント利益又は損失(△)	312,591	△47,370	262,379	26,515	554,116

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	554,116
全社費用（注）	△296,068
四半期連結損益計算書の営業利益	258,048

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。